色麻町教育委員会の事務の管理及び執行状況についての点検及び評価の結果報告書

（平成２７年度実績）

平成２８年８月

色　麻　町　教　育　委　員　会

Ⅰ　はじめに

平成１９年６月に，「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され，各教育委員会においては，毎年，教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い，その結果に関する報告書を議会に提出するとともに，公表することが規定されました。

本報告書は，「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第２６条の規定に基づき，平成２７年度の色麻町教育委員会の教育基本方針に基づく具体的施策や重点事業等の実施状況について点検及び評価を行うものです。さらに，学識経験者の意見を聴取したうえで，課題や今後の改善方策を明らかにするとともに効率的かつ効果的な教育行政の推進を図ることとし，点検及び評価の結果に関する報告書を作成し，これを議会に提出するとともに公表することにより，町民に対する説明責任を果たし町民に信頼される教育行政を推進するものです。

平成２８年８月

色 麻 町 教 育 委 員 会

関係法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２６条　教育委員会は，毎年，その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い，その結果に関する報告書を作成し，これを議会に提出するとともに，公表しなければならない。

２　教育委員会は，前項の点検及び評価を行うに当たっては，教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 実施概要

（１）評価の対象

教育基本方針に基づく教育重点施策や具体的事業実践プラン等の実施状況について点検及び評価を行いました。

（２）対象期間

平成２７年度（平成２７年４月１日から平成２８年３月３１日まで）

（３）評価の観点

教育基本方針に示す具体的施策等について，成果と課題を明らかにした上で，次に示す５区分により達成度を評価しました。

⑤	大変満足
④	概ね満足
③	普通
②	やや不十分
①	不十分で改善必要

Ⅲ 結果

（１）具体的取組計画等の評価

評　価	⑤ 大変満足	④ 概ね満足	③ 普　　通	② やや不十分	① 不十分で改善必要
項目数	2 (1.3%)	８１ (50.9%)	７４ (46.5%)	2 (1.3%)	0 (0.0%)

（２）総合評価

評　価	⑤ 大変満足	④ 概ね満足	③ 普　　通	② やや不十分	① 不十分で改善必要
項目数	0 (0.0%)	２９ (52.7%)	２６ (47.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

（３）公表の方法

町ホームページに掲載します。

色麻町の教育基本方針

色麻町の恵まれた自然の中で，未来に向けて志を高くし，心身ともに健やかな人間の育成と，潤いと活力に満ちたふるさとづくりを目指して，次のことを重点に，本町の未来を展望しながら，町民の生涯にわたる学習の充実に努めます。

○ 確かな学びの力と
やさしさやたくましさを培う学校
○ 学びと潤いを大切に
人と人との絆をつなぐ家庭と地域社会
○ 芸術文化の創造と
活力ある生涯スポーツの振興

Ⅳ 目 次

教育の重点

教育委員会

1　教育委員会運営事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
2　事務局運営事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
3　奨学事業運営事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
4　児童生徒の通学確保に関する事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
5　幼稚園児の通園確保に関する事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

学校教育

1　創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進　・・・・・・・・・・・　１１
2　確かな学力を培う学校づくりの推進　・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
3　豊かな心をはぐくむ学校づくりの推進　・・・・・・・・・・・・・・・　１９

４　健康でたくましい児童・生徒をはぐくむ教育環境づくりの推進　・・・　２３
５　教職員と家庭・地域が誇れる学校づくりの推進　・・・・・・・・・・・　２６

幼稚園教育

１　創意と活力に満ちた特色ある園づくりの推進　・・・・・・・・・・・・　３１
２　豊かな心をはぐくむ園づくりの推進　・・・・・・・・・・・・・・・・　３３
３　健康でたくましい幼児をはぐくむ教育環境づくりの推進　・・・・・・　３５
４　教職員と家庭・地域が誇れる園づくりの推進　・・・・・・・・・・・・　３７

社会教育

１　生涯学習の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４２
２　ライフステージに応じた社会教育の充実　・・・・・・・・・・・・・・　４４
３　図書事業の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４９
４　情報教育・視聴覚教育の充実と振興　・・・・・・・・・・・・・・・・　５１
５　芸術文化活動の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５１
６　文化財保護体制の整備充実と活用の推進　・・・・・・・・・・・・・・　５３
７　生涯スポーツの推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５５

学識経験者による意見書

意見書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５９

教　育　委　員　会

教育委員会　　事務事業点検評価

１　教育委員会運営事業

（１）教育委員会委員活動の事務執行

主　要　事　業	①　教育委員会の開催

具体的取組計画等

毎月1回定例会を開催し，教育長から提案された議案を審議する。また，必要に応じ臨時会を開催し，教育行政の円滑な運営に努める。

3

主　要　事　業	②　学校訪問

具体的取組計画等

各学校を訪問し，教育委員会で定めた教育方針に沿った学校経営や指導計画が実践されているか，校長から説明を受けるとともに，学習指導の状況，教育活動について意見交換を行う。

3

成果と課題　　**総合評価**　3

・会議資料の事前配布は議事進行，審議の深まりに効果的であった。また、提案された議案について慎重に審議を重ね，教育行政の円滑な運営に寄与できた。
※委員会開催　17回（定例会　12回　臨時会　5回）　議案　34件　　協議　6件　　報告　6件。
・11月に教育委員が各学校を訪問し，教育現場を直に視察しながら，校長や教務主任等からの説明を受け，各学校の学習指導の状況，教育活動の実態，施設整備の現状を把握することができた。

２　事務局運営事業

（１）教育全般にわたる事務の適正な処理

主　要　事　業	①　就学に関係すること

具体的取組計画等

入学通知，転校，区域外就学の手続き。

3

教育委員会　　事務事業点検評価

主 要 事 業	②　教科書，教材の取扱いに関係すること
具体的取組計画等 教科書の無償給付に関する事務。	3

主 要 事 業	③　教育関係職員の研修に関係すること
具体的取組計画等 研修の案内及び希望者の取りまとめと申請。	3

主 要 事 業	④　学級編制に関係すること
具体的取組計画等 職員の定数及び学級数に関する事務。	3

主 要 事 業	⑤　教育に関する調査，統計に関係すること
具体的取組計画等 学校基本調査及び地方教育調査の実施。	3

主 要 事 業	⑥　学校施設整備に関すること
具体的取組計画等 色麻中学校及び色麻幼稚園講堂天井落下防止補強対策の国庫負担金等に関する事務。	3

成果と課題　　**総合評価**　3

・各事務処理については適正かつ遺漏無く執行された。また，区域外就学については，保護者の希望を最大限尊重し，結論を出している。
・教育関係職員の研修については，宮城県教育研修センター等からの研修案内を小・中学校及び幼稚園に送付し，教職員の指導力向上に努めた。今後も教育内容充実のため，様々な研修に参加する必要がある。
・学校施設整備については，講堂天井落下防止補強対策として，天井と壁との衝突を防止するためのクリアランス等を設け、天井材等の非構造部材の耐震化を行い、学校施設の耐震性を高め防災機能の強化を図った。

教育委員会　　事務事業点検評価

３　奨学事業運営事業

（１）奨学資金貸付金貸与者選考，貸付け，返還及び基金造成

主　要　事　業	①　奨学資金の貸付，返還に関すること

具体的取組計画等

経済的な理由で就学困難な人に対して無利子で奨学資金を貸与する。
　貸与額
　　高校生　　3万円　　短大生等　4万円　　大学生等　5万円

3

成果と課題　　**総合評価**　3

・貸付申込者について，奨学事業運営委員会に諮問をし，選考を行い，品行方正にして学業優秀で就学を希望しているにもかかわらず，経済的理由により，就学困難な生徒・学生に対し奨学資金の貸付けを行った。
・貸付満了者については，計画的な返還がなされているが，一部未納者が増加傾向にあるので，さらなる計画的な返還及び未納者の減少に努める必要がある。
※貸付者　　18人（高校生　2人　　短大生等　2人　　大学生等　14人）
※返還者　　60人

４　児童生徒の通学確保に関する事業

（１）児童生徒送迎事業

主　要　事　業	①　児童送迎事業

具体的取組計画等

児童生徒の通学手段として，スクールバスを運行し，安全かつ確実に送迎を行う。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・児童生徒の安全を第一に考え，各停留所を設定し運営を行っているが、今後も事故防止に努める必要がある。
※利用者
　色麻小学校　228人　　56．6％
　色麻中学校　113人　　51．6％

教育委員会　　事務事業点検評価

５　幼稚園児の通園確保に関する事業

（１）園児送迎事業

主　要　事　業	①　園児送迎事業

具体的取組計画等

園児の通園手段として，幼稚園バスを運行し，安全かつ確実に送迎を行う。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・園児の安全を第一に考え，なるべく自宅前での送迎を行っているが，今後も事故防止に努める必要がある。
※利用者
　色麻幼稚園　74人　56．5％

学　校　教　育

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

1　創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進

（1）小中一貫校としての着実な学校経営

主　要　事　業	①　教育目標の具現化

具体的取組計画等

目指す学校像，教師像，児童・生徒像を明確に掲げ，全教職員の共通理解を図り，具体的な重点目標の達成に向けて教職員一丸となって教育活動を展開する。

4

主　要　事　業	②　学校評価の実践・活用・改善

具体的取組計画等

教職員による学校評価，児童・生徒，保護者によるアンケート，学校評価委員会による学校評価を実施し，教育活動の成果と課題を把握する。その結果を公表するとともに，改善を図ることで教育活動や次年度の教育課程編成に生かす。

4

主　要　事　業	③　学校評議員制の推進

具体的取組計画等

年間3回の評議員との会議を実施し，学校経営の方針と課題を共有するとともに，多様な視点から出された意見を課題改善につなげる。また，学校評議員が学校と地域の連携を深める橋渡し役となるよう信頼関係の構築に努める。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・地域に開かれた学校を目指し，学校教育の様子を諸行事や各種たより等を活用し，保護者や地域に積極的に発信し，信頼と協力を得ることができた。
・目指す学校像，教師像，児童・生徒像を全教職員で共通理解を図り，共通行動につなげることができてきた。学校評価の結果を受け，直ぐに改善できるところは改善を図ったり，検討を要するところは長期的な見通しを立てて検討したりしている。
・小中一貫教育を着実に進めていくために，自己評価とともに外部からの評価や建設的な意見を学校教育改善への提言と捉え，より一層の課題改善に努めたい。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

（2）創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価

主　要　事　業	①　学習指導要領に基づいた教育課程の実施と評価	
具体的取組計画等	学習指導要領に基づき，9年間の小中一貫教育の系統性を意識した特色のある教育課程を編成する。また，評価については，PDCAのマネジメントサイクルを生かし，教育活動の改善につながるよう努める。	4

主　要　事　業	②　小中一貫教育による潤いのある教育課程の実施と評価	
具体的取組計画等	小学校に一部教科担任制の授業を取り入れたり，TT指導での一部乗り入れの授業を取り入れたり，小中一貫教育校の特色を生かした教育課程を展開する。	4

主　要　事　業	③　各教科，道徳，特別活動，総合的な学習の時間との関連を図った指導計画の作成	
	・「色麻を知り・学び・創る」郷土学習の推進（志教育・「色麻学」） ・「世界の中の日本」の認識を高める国際理解教育の推進（国際理解教育） ・情報活用能力を高める情報教育の推進（情報教育） ・環境への理解を深め，よりよい環境をつくる環境教育の推進（環境教育） ・人間尊重・福祉の心を大切にした人権・福祉教育の推進（福祉教育） ・図書の整備・活用と地域に開かれた図書館づくりの推進（図書館教育）	
具体的取組計画等	各教科・領域等との関連を図った指導計画を作成し，年度当初に教職員で共通理解する。また，それぞれの教科・領域ごとに指導計画を基にした教育活動を展開し，改善を図る。	4

主　要　事　業	④　個に応じた指導計画の作成と改善	
具体的取組計画等	配慮が必要な児童生徒について，教職員間で共通理解を図る。また，実態を把握し，個別の支援計画や指導計画を作成し，きめ細やかな指導に当たる。	4

主　要　事　業	⑤　地域の教育力を生かした教育課程の実施と評価	
具体的取組計画等	地域の人材や学習支援ボランティアなどを積極的に活用したり，地域の施設設備を生かした学習活動を展開したりする。	5

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

成果と課題　　**総合評価**　**4**

・今年度は，小学校5年図画工作，小学校2年音楽など教科指導の一部で，小・中学校教員によるTT指導を行った。また，小学校のクラブ活動の時間に中学校理科教諭がゲストティーチャーとして，理科実験の指導に当たったり，小中英語部会で系統性のある年間指導計画を作成したりと小中一貫校ならではの指導方法，指導計画の工夫と改善を図ることができた。
・総合的な学習の時間などについても，小中一貫教育の観点から，系統性や発達段階を考慮し，指導計画の改善と小中学校教職員の共通理解を図り，確実に共通行動につなげていくことが重要である。
※TT（チームティーチング）とは・・・複数の教師が協力して授業を行う指導方法。

２　確かな学力を培う学校づくりの推進

（１）教科等の指導力を高める教職員研修の充実

主　要　事　業	①　今日的教育課題の共通理解と解決に向けた校内研究の推進

具体的取組計画等

小・中学校合同による校内研究を推進し，今日的な課題を共有するとともに，小中一貫教育の中で，授業力の向上を目指して，課題改善に協働で取り組む。　**4**

主　要　事　業	②　専門職としての資質と指導力の向上を目指した校内研修体制の充実

具体的取組計画等

定期的に小・中学校合同の研修会を開催したり，外部から講師を招聘したりしながら，教員としての指導力を向上させていく。また，分かる授業づくりや基礎的基本的な力，活用する力等を定着させるための指導方法を探る。　**4**

成果と課題　　**総合評価**　**4**

・校内研究の組織体制を見直し，小中学校合同の教科部会をつくり，それぞれの部会ごとに部内授業を実施し，小・中学校の教員が協働で研究を進めることができた。
・年3回の全校授業研究会及び事後の検討会を積み重ねて研究を深めたり，北部管内の初任者研修で小中ともに5つの研究授業を提供したりと授業力向上に取り組む機会を積極的に設定することができた。特に，第3回の全校授業研究会は，北部管内の各小・中学校に案内を出して外部からの参加者を募り，指導助言者として加美郡内から3名の校長先生を招聘し，様々な観点から指導助言，意見をいただき，校内研究，研修の機会を充実させることができた。
・日々指導力向上のために，指導方法の工夫改善に取り組み，「学力向上に向けた5つの提言」を意識した授業を実践するとともに，さらに校内研究・校内研修体制の充実に努めたい。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

（2）発達段階に応じた指導と評価の工夫

主　要　事　業	①　発達段階に応じた学習活動の充実（課題の明確化と学習評価）	
具体的取組計画等	前期・中期・後期ごとの発達段階に応じた効果的な学習指導を探究し，小中一貫教育の中で系統性を意識した指導や継続的な指導を行うことによって，児童生徒の学習活動の充実を図る。	3

主　要　事　業	②　自ら学ぶ意欲を高める体験的・課題解決的な学習の充実（分かる授業づくり）	
具体的取組計画等	学ぶ意欲を高めるために，分かる授業づくりを意識した体験的・課題解決的な学習を展開する。また，「学ぶこと」の楽しさを実感させたり，学ぶ目的を意識させたりできるよう授業改善を行う。	4

主　要　事　業	③　少人数・習熟度別指導等効果的な指導形態の充実（個を生かす指導）	
具体的取組計画等	算数科等で少人数指導やTT指導を行い，きめ細やかで個に応じた指導に努める。（小） 数学科や英語科等で少人数指導やTT指導，個別指導を行い，きめ細やかな指導に努める。（中）	4

主　要　事　業	④　各教科等の関連を図った学習計画と学習活動の充実（横断的・総合的な学習）	
具体的取組計画等	各教科の指導と関連を図り，小中9年間の見通しをもった横断的・総合的な学習が充実するように指導計画を作成し，実践する。	3

主　要　事　業	⑤　小学校高学年と中学校との連続性を大切にした英語科指導の工夫・改善	
具体的取組計画等	小中学校教職員による協働的な教材研究を行い，系統性や連続性を共通理解するとともに，TT指導やより専門的な指導を取り入れ，児童生徒の学習意欲の向上と指導方法の工夫・改善を図る。	4

主　要　事　業	⑥　小・中学校の連続性を大切にした補充・発展的な学習の充実（指導体制）	
具体的取組計画等	各教科・領域等において，小・中学校の系統性を踏まえ，基礎的基本的な力の定着を図ったり，活用する力の伸長を図ったりするために，補充・発展的な学習を取り入れていく。	3

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

主　要　事　業	⑦　小学校高学年における一部教科担任制の実施と改善（指導体制）

具体的取組計画等

5･6年生の英語科をはじめとした一部教科担任制による指導を実施し，より専門的な授業を展開することで児童の学力と学習意欲の向上を図る。

4

主　要　事　業	⑧　評価の観点及び評価規準の設定と活用（指導と評価の一体化）

具体的取組計画等

学習指導要領の目標と内容及び児童生徒の実態等を踏まえ，より具体的に評価規準を設定し，評価を行うとともに，指導方法の改善に努める。

4

主　要　事　業	⑨　標準的な学力検査の実施と結果の分析･活用（指導と評価の一体化）

具体的取組計画等

児童生徒の学力の定着を図るために，標準的な学力検査を実施し，児童生徒の達成度･到達度を把握するとともに，結果の分析から，各学年ごとの課題を捉え，授業改善に生かす。

4

成果と課題

総合評価　4

・小中合同の教科部を中心に「分かる授業」，「系統性を踏まえた授業」づくりに取り組んできた。小学校では算数のTT指導や少人数指導，高学年の一部で教科担任制を取り入れた。また，中学校の数学科で少人数指導やTT指導を取り入れたり，英語科でTT指導を取り入れたりしてきた。さらに，小中の授業の中で，小中教員によるTT指導を行うなど，指導形態や指導体制を工夫し，児童生徒の学習意欲の向上や基礎的基本的な力の定着につなげることができた。
・小中一貫教育の基盤をさらに強固なものにするため，各教科等の系統性や関連を考慮した指導方法を検討し，共通理解のもと小中協働体制を充実させ，教職員の指導力の向上に努める。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

（3）一人ひとりの発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進

主　要　事　業	①　特別支援コーディネーターを中心とした校内研修と支援体制の充実

具体的取組計画等

特別支援コーディネーターを中心に，小中ごとの研修会や小中合同の研修会を開催し，必要に応じて外部機関と連携を図りながら校内での支援体制の整備と教職員の指導力向上に努める。

4

主　要　事　業	②　特別支援計画及び個別の支援計画の作成と積極的な活用

具体的取組計画等

特別支援計画を教職員全体で共通理解し，指導に生かす。また，配慮を必要とする児童生徒の個別の支援計画を作成し，個に応じた指導を行う。

3

主　要　事　業	③　交流学習推進のための協力体制の確立と適切な進路指導

具体的取組計画等

個別の支援計画に基づき，特別支援教育担当と通常学級担当が連携し，教科・領域の学習の一部や学校行事等において通常学級で交流学習を行う。また，個別の支援計画を生かし，見通しをもって一人ひとりの適切な進路指導の充実を図る。

4

主　要　事　業	④　校内特別支援教育委員会及び就学指導委員会の推進・充実

具体的取組計画等

校内就学指導委員会において，適切な就学指導を推進するとともに，小中連携による効果的な特別支援教育の在り方についても探っていく。

3

成果と課題

総合評価　3

・特別支援教育に関する情報交換や通級指導，ユニバーサルデザインを意識した授業など，小学校の特別支援教育の体制は整ってきた。しかし，中学校の通常学級における特別な配慮を要する生徒への支援体制や小中連携における効果的な特別支援教育の在り方については今後とも検討していく必要がある。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

（4）家庭における学習を支える指導の工夫

主　要　事　業	①　生活リズムの改善と定着（家庭との連携）	
具体的取組計画等 学校からの各種たよりや学年・学級懇談会，家庭訪問等の機会を通して，基本的な生活習慣の定着を図る。また，保護者アンケート等から実態を把握し，望ましい生活リズムの確立の啓発に努める。		3

主　要　事　業	②　児童・生徒の発達段階に応じた課題提示の工夫（家庭学習と授業づくり）	
具体的取組計画等 発達段階に応じて課題（宿題）や自主学習の内容等を吟味し，家庭学習の手引き等を作成し，提示する。また，小中学校9年間の系統性と連続性を踏まえ，家庭学習が授業に結びつくよう，課題や自主学習の在り方についても検討する。		3

主　要　事　業	③　学ぶ意欲を高める指導・手立ての工夫（家庭学習と授業づくり）	
具体的取組計画等 家庭学習の習慣化を確かなものにするために，教師のコメントによる励ましやノートコンクールを実施し，意欲付けを図る。また，児童生徒が意欲的に学習に取り組むために，分かる授業，学びを実感できる授業づくりに努める。		4

成果と課題　　**総合評価**　3

・基本的な生活習慣の定着に向け，各種たよりや懇談会等の機会を通じて啓発を図ってきた。しかし，学校改善アンケートの結果では，「早寝・早起き・朝ごはん」等の生活習慣がしっかりできていると回答している保護者は，小学校で7割，中学校で6割であった。基本的な生活習慣の定着がなぜ大切かを含め，家庭への啓発とともに，児童生徒への指導についても継続と工夫が必要である。
・「学習のすすめ」の作成と活用，ノートコンクールの開催等で，家庭学習に対する児童生徒の意欲を喚起し，習慣化を図ってきた。今後は，さらに小中学校9年間の系統性と連続性を踏まえた家庭学習の在り方についても検討していく必要がある。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

（5）教育環境の整備と活用

主　要　事　業	①　教材・教具・備品の点検・整備・活用

具体的取組計画等

定期的に教材・教具・備品を点検整備し，授業の中で有効に活用できるよう教職員で共通理解を図る。

4

主　要　事　業	②　情報機器等の整備・活用と校内体制の充実

具体的取組計画等

情報機器の整備と校内研修の充実を図る。また，各教科・領域で情報機器を活用した効果的な学習指導の事例を共有する。

3

主　要　事　業	③　学校支援ボランティア等地域人材の活用

具体的取組計画等

各教科の学習や総合的な学習の時間，部活動の外部講師活用等，教育諸活動の中で地域の人材の活用を図ることにより，充実した教育活動を行う。

5

成果と課題　　**総合評価**　4

・小・中学校ともに，教育諸活動において地域の人材や学習支援ボランティアを積極的に活用することができた。専門的な知識や技能を有した方々に数多く協力をいただけたことで，充実した教育活動を行うことができた。今後も地域との連携を深め，地域の人材の活用を図りたい。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

３　豊かな心をはぐくむ学校づくりの推進

（１）各発達段階に応じた「志教育」の推進

主　要　事　業	①　自他のよさに気づき、個性を伸ばそうとする態度の育成

具体的取組計画等

各教科・領域等，様々な教育活動において，多くの人々や社会と関わる体験活動を通して自分の役割を積極的に果たそうとする態度や自己有用感を育てる。

4

主　要　事　業	②　将来への夢や希望を持ち、実現を目指す態度の育成

具体的取組計画等

各教科・領域等において，将来の生き方や夢について学習する時間を意図的かつ計画的に設定する。小学校4学年での1／2成人式の内容を充実させる。（小）
各教科・領域の学習や職業体験活動，中学校2学年の立志式等を通じて，自分の生き方や将来にの夢や希望を考える機会を意図的かつ計画的に設定する。（中）

4

主　要　事　業	③　働く喜びや勤労の尊さを経験させる啓発的体験活動の充実（進路指導）

具体的取組計画等

係活動や清掃活動，委員会活動，家庭での手伝い，地域での活動等を通じ，自分の役割や責任を果たす喜びを体験させる。
日常的な清掃活動，学期末の愛校清掃，奉仕作業（PTA奉仕作業に参加）等を通じ，働く喜びや勤労の尊さを実感させる。

4

主　要　事　業	④　小・中・高等学校や家庭・地域との連携（進路指導）

具体的取組計画等

地域の公的機関の見学や学習支援ボランティアの方々と一緒に活動する機会を充実させる。
地域の事業所での職場体験活動を充実させたり，卒業生から講話を聞く機会や高校体験入学等の機会を設定したりする。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・今年度も各学年の発達段階に応じて志教育を実践してきた。「志教育」のねらいと月毎の活動を年間を通して，職員室前廊下に掲示してきた。また，小学校4年の1／2成人式と，中学校2年の立志式を実施し，児童生徒が自らの成長を自覚するとともに，将来の夢や希望を考え，保護者に発表する機会をもつことができた。
・今後とも児童生徒が学ぶ意欲をもち，将来の生き方を考えることができるよう，学校教育活動全体を通して児童生徒の自己有用感，自己肯定感を醸成していくことが必要である。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

（2）心をはぐくむ道徳教育の推進

主　要　事　業	①　道徳の時間を要とした全体計画と年間指導計画の整備と実施（計画の整備）

具体的取組計画等

年間指導計画については，全体計画に基づき，各教科等との関連を図りながら，各教育活動で行う道徳教育を補充・深化・統合する授業が行われるように整備する。また，学年・学級ごとの年間指導計画を整備・改善するよう努める。

4

主　要　事　業	②　道徳的価値観の内面化を図る指導の工夫と改善（道徳の時間の充実）

具体的取組計画等

「私たちの道徳」やみやぎの先人集「未来への架け橋」の活用など道徳的資料の活用，道徳資料の価値分析と指導方法の工夫改善に努め，児童生徒が生き方についての考えや自覚を深められるよう心に響く指導の充実を図る。

3

主　要　事　業	③　道徳的実践力を養う体験的な活動の充実（全教育活動と連携）

具体的取組計画等

道徳的価値及び人間の生き方についての自覚を深めさせ，道徳的実践力を育むために，全教育活動との関連を踏まえ，豊かな体験活動の充実を図る。

4

主　要　事　業	④　個々の成長を認め・励ます評価方法の工夫（変容・成長を見守る評価）

具体的取組計画等

児童生徒の変容や成長を把握して，よりよく生きようとする努力を評価し，励ますなど，道徳的実践意欲が高まるよう，評価方法を工夫・改善する。

3

主　要　事　業	⑤　命を大切にする心を育む道徳教育の充実

具体的取組計画等

道徳の時間や教育活動全体を通じて，自他の命がかけがえのない大切なものであることを学ぶ機会を設定し，命を尊重する心を育てるよう努める。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・年間指導計画や別葉（自校の特色や重点を教育活動全体でどのように実践していくかが分かり，道徳の時間以外の指導内容や時期が明確になるもの）の整備と改善に努め，学校の教育活動全体を通して，道徳教育を充実させることができた。
・特別の教科道徳となったことを踏まえ，年間指導計画等の見直し及び評価の在り方を検討することが必要である。また，「私たちの道徳」やみやぎの先人集「未来への架け橋」もより積極的に活用したい。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

（3）望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の充実

主　要　事　業	①　児童・生徒理解を基本に据えた積極的な生徒指導の推進	
具体的取組計画等	小中学校の教職員が児童生徒の実態把握に努め，基本的な生活習慣やあいさつ，規範意識の向上等の指導において共通理解を図り，発達段階を考慮し一貫した積極的な生徒指導に当たる。	4

主　要　事　業	②　個々の存在感を高め，正義感を持って生きる自己指導能力の育成	
具体的取組計画等	各教科・領域の学習活動や学校行事において，児童生徒一人ひとりが自らの行動を自分で決定できる場面を設定する。また，困難を克服して目標を達成したり，他人から認められたりする体験等を通じ，自信や自己存在感などを高められるよう努める。	3

主　要　事　業	③　いじめや不登校の未然防止及び早期発見・対応を図る指導体制の充実	
具体的取組計画等	定期的ないじめ問題等のアンケートの実施や日常の観察，積極的な生徒指導を通して，いじめや不登校の未然防止・早期発見・迅速な対応に努める。また，校内体制の整備や教職員の研修に努める。	3

主　要　事　業	④　スクールカウンセラーとの連携を図り、速やかに相談できる教育相談体制の充実	
具体的取組計画等	スクールカウンセラーと連携を図り，児童生徒や保護者，教職員が気軽に相談できるよう，環境や相談体制の整備に努める。また，必要に応じて外部の相談機関を活用するなど，教育相談体制の充実を図る。	4

主　要　事　業	⑤　家庭や地域，関係機関と連携した生徒指導体制の充実	
具体的取組計画等	年間2回の「いじめ・生徒指導等問題対策会議」の開催や保護者アンケートの実施等を通じ，家庭や地域，関係機関との連携を図る。また，問題対策会議の協議の中で適切な助言を受け，生徒指導に生かす。	4

成果と課題

総合評価　4

・小中学校の教職員が同じ色麻学園の児童生徒であるという意識の基，連携・協力を図りながら，生徒指導の充実に努めてきた。情報の共有化やスクールカウンセラー，関係機関との連携を図るなど相談体制，指導体制を整備してきた。
・いじめ・不登校等の未然防止や早期発見・早期対応についても，さらに小・中学校での共通理解を図り，発達段階を踏まえた，積極的な生徒指導を一層継続して推進していくことが必要である。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

（4）望ましい集団づくりを目指す特別活動の推進

主　要　事　業	①　各教科・領域との関連を図った学校行事等の教育活動の充実

具体的取組計画等

児童生徒に身に付けさせたい力を明確にし，各教科・領域との関連を図った学校行事等，教育諸活動の充実に努める。また，小中一貫教育の利点を生かした学校行事の中で，小学生と中学生の交流を図る。

4

主　要　事　業	②　ボランティア活動等異年齢集団による体験的な活動の充実

具体的取組計画等

小中合同の学校行事やあいさつ運動，たてわり活動，児童会活動や生徒会活動などを通して，多様な集団活動の場を設定し，異学年交流の充実を図る。

4

主　要　事　業	③　家庭や地域と連携した体験的な活動の推進・充実（社会教育との連携）

具体的取組計画等

PTC活動や地域社会と連携した体験活動，公民館や諸団体が行う学習・体験講座等を活用したり，職場体験学習等を充実させたりするなど，社会教育との連携に努める。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・小中合同の行事として，運動会，音楽集会を行った。また，小中連携の活動として，毎週水曜業前のあいさつ運動，小学校音楽朝会への中学校吹奏楽の参加，中学校合唱コンクールへの小学校6年児童の参加，中学校文化祭美術作品の小学生による事前鑑賞と感想の表示など，異学年間交流の場を積極的に設定してきた。異学年交流を通して，小中一貫校の一員であるという意識が高まってきている。
・今後は，小中の系統性や連続性を踏まえて，無理なく異学年交流できるよう多様な活動を検討したい。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

４　健康でたくましい児童・生徒をはぐくむ教育環境づくり

（１）進んで運動に親しみ，生涯スポーツの基礎を培う教育活動の推進

主　要　事　業	①　心身の発達段階に応じた指導の推進・充実

具体的取組計画等

体育科の年間指導計画を整備・改善し，運動の楽しさを実感させる指導に努める。また，マラソン大会を通して持久力向上に努める。（小）
保健体育科の年間指導計画に基づき，体力や運動能力の向上に努める。陸上大会や駅伝大会，校内マラソン大会を活用し，持久力の向上に努める。（中）

3

主　要　事　業	②　コオーディネーショントレーニングの導入と推進

具体的取組計画等

体育科や保健体育科の授業の中での活用を検討していく。

3

主　要　事　業	③　体力・運動能力の向上を目指した日常的な体育活動の充実（社会体育との連携）

具体的取組計画等

体育科の指導方法を工夫・改善するとともに，日常的に校庭での外遊びを奨励し，体力の向上を図る。（小）
保健体育科の授業や部活動の指導を工夫し，継続的に行うことで体力や運動能力の向上に努める。（中）

4

成果と課題　　**総合評価**　3

・小学校体育科，中学校保健体育科では授業の工夫を通して体力・運動能力の向上に努めてきた。今年度は，天候の関係で中学校のマラソン大会が中止となったり，小学校のマラソン大会への向けての持久走練習の期間が短かったりという課題も見られた。
・今後も体育科，保健体育科の授業の充実や小中学校での日常的な運動量の確保等に努めたい。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

（2）食生活に関する正しい知識と望ましい食習慣形成を図る食育指導の充実

主　要　事　業	①　発達段階に応じた食育指導及び給食指導の実践と改善

具体的取組計画等

食育の年間指導計画に基づき，継続した学級指導を行うとともに，給食センターの栄養士による食育指導・給食指導を工夫して行う。

4

主　要　事　業	②　家庭や地域と連携した食育指導の充実（食習慣形成と生活習慣病予防）

具体的取組計画等

家庭に各種たよりや献立表を配布することにより，食育に関する啓発を行う。また，家庭や地域と連携し，児童生徒の望ましい食習慣の形成や生活習慣の改善を図る。

3

成果と課題　　**総合評価**　3

・栄養士と連携を図り，計画的に食育指導・給食指導を行うことができた。
・望ましい食習慣の形成や生活習慣の改善については，継続して家庭に啓発を図るとともに，地域や関係機関と連携を図りながら取り組むことが必要である。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

（3）健康で安全な生活を送るための保健・安全指導の充実

主　要　事　業	①　発達段階に応じた保健･安全指導の推進･充実

具体的取組計画等

保健や安全の年間指導計画に基づき，心や体の健康，歯の健康，薬物乱用防止等の指導の充実を図る。学校医，栄養士，関係機関との連携を図り，保健･安全指導の充実を図る。

4

主　要　事　業	②　心身の健康や安全に関する自己管理能力の育成

具体的取組計画等

各種健康診断や身体計測，保健の授業等を通じ，学級担任と養護教諭が連携を図り，児童生徒の健康に対する関心を高める。また，避難訓練，交通安全教室を行い，安全指導の工夫･改善に努める。

4

主　要　事　業	③　各教科，道徳，特別活動との関連を図った性に関する指導の推進･充実

具体的取組計画等

年間指導計画に基づいて，各教科･領域等の関連を図り，発達段階に応じた性に関する指導を適切に行う。

3

主　要　事　業	④　発達段階に応じた放射線やその影響に関する適切な指導の推進

具体的取組計画等

放射線に関する児童生徒向けの資料や視聴覚教材等を活用し，放射線の作用や人体への影響について発達段階を考慮した指導を行う。

3

成果と課題　　**総合評価**　3

･年間指導計画に基づき，保健指導や交通安全指導，避難訓練等を継続的に行ってきた。また，月1回の防災タイムでは，ゲストティーチャーとして積水ハウスの職員に協力をいただきくことができた。
･家庭や地域との連携を図るとともに，系統性を踏まえた計画的な保健指導や安全指導の充実に努めることが必要である。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

５　教職員と家庭・地域が誇れる学校づくりの推進

（１）家庭や地域と連携した教育活動・環境整備の推進・充実

主　要　事　業	①　家庭・地域と連携した各種教育活動の推進	
具体的取組計画等	教育諸活動のねらいを明確にし，家庭や地域，関係機関と連携し，それぞれの人的，物的資源を活用した教育活動の推進に努める。	4

主　要　事　業	②　交通安全及び不審者対策における連携・強化	
具体的取組計画等	各種たよりや懇談会などを通して，家庭や地域，ウォーキングパトロール隊，関係機関等との連携を図り，児童生徒の登下校時の安全を確保に努める。	4

主　要　事　業	③　学校周辺や通学路等の学校環境の安全確保	
具体的取組計画等	PTAとの連携を図り，定期的な学区内巡視や通学路及び地区の危険箇所の点検を行い，必要な場所に赤旗を設置して注意を促す。	3

成果と課題　　**総合評価**　4

・各種たよりや懇談会，諸会議等の機会を通じて家庭や地域，関係機関と情報を共有しながら環境整備に努めてきた。児童生徒の安全確保の観点から，家庭，地域，関係機関の協力を得ることができた。
・危険箇所の定期的な確認と登下校時の送迎等についても，今後とも家庭や地域と連携を図り，協力して安全確保に努めることが必要である。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

（2）教職員の研修の充実と実践的研究の奨励

主　要　事　業	①　学校課題を捉えた研究・研修の推進

具体的取組計画等

小中一貫教育を推進するために，児童生徒の実態，学校課題を把握するとともに，課題解決に向けて校内研修に取り組む。また校内研究で目指す方向性を共通理解し，一人ひとりの実践力を強化しながら教職員の組織力を高める。

4

主　要　事　業	②　専門職としての資質を高める研修の充実

具体的取組計画等

小・中学校共通の校内研究のテーマに基づいた研究授業，事後検討会を行い，PDCAサイクルによる改善を授業実践につなげ，授業力向上に努める。また，各種研修会への参加を促し，校内での伝講や研修機会の充実に努める。

4

主　要　事　業	③　職責や分掌に即した個人研究の奨励

具体的取組計画等

教職員一人ひとりの担当や分掌などに即した個人研究を奨励し，教職経験段階における指導力の向上に努める。

3

主　要　事　業	④　幼稚園・保育所及び小・中学校教職員との合同研修の充実

具体的取組計画等

幼保小の連携を基盤に，教職員の交流や合同の研修を行い，相互理解と幼保小のなめらかな接続に努める。また，学習活動の中で幼児，児童の交流の充実を図る。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・小中一貫校として，小中合同の教科部会を設定し，教科部の中で小中の系統性を踏まえた授業実践，授業改善に取り組むことができた。また，共通理解を図った上で校内研究を推進したり，小中合同の研修会を実施したりすることことにより，小中教職員の同僚性や協働意識を高めることができた。
・今後は，さらに校内の研究体制を整備し，小・中学校の系統性と連続性を踏まえた小中一貫教育の推進につながるよう，共通理解と共通行動を図り，研修の充実と授業改善に努めたい。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

（3）教職員の服務規律遵守の徹底

主　要　事　業	①　教育公務員としての自覚と規律の遵守

具体的取組計画等

教職員の打合せや職員会議をはじめ，日常からあらゆる機会を通じ，教育公務員としての自覚と服務規律の遵守の徹底を図る。

4

主　要　事　業	②　職務遂行における危機管理意識の高揚

具体的取組計画等

事故等の未然防止と事故発生時における迅速な対応に関する研修等を行い，危機管理意識の高揚に努める。また，風通しのよい職場環境づくりに努め，常日頃から服務規律の遵守についての意識を高める。

4

主　要　事　業	③　児童・生徒や保護者及び地域との信頼関係の確立

具体的取組計画等

学校の様子を学校・学年・学級だより，懇談会等で保護者に知らせ，信頼関係の構築に努める。また，地域に向けて，学校だよりを地区内にて回覧し，学校の様子や児童生徒の活躍を積極的に知らせるよう努める。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・定期的な職員会議や打合せの中で服務規律の遵守と危機管理意識の啓発を継続して行うとともに，事故等の未然防止と迅速な対応ができるよう，明るく風通しのよい職員室づくりを心掛けてきた。また，学校の様子を各種たよりや懇談会等で積極的に発信してきたことで，学校への理解や協力を得ることができた。
・今後も教育公務員としての役割と責任の重さについては，研修や情報交換を充実させることで自覚と服務規律の遵守の徹底を図りたい。

小中一貫校「色麻学園」　事務事業点検評価

（4）教職員の健康管理と福利厚生の充実

主　要　事　業	①　全教職員の健康（心身の状態）管理と個々に応じた支援体制の充実

具体的取組計画等

全教職員の心身の状況を把握するために，日頃から職員間・職員と管理職間での会話や風通しのよい職場環境づくりに努める。また，必要に応じて養護教諭や保健主事から状況に応じた指導助言を行う。

4

主　要　事　業	②　各種休暇の有効利用の促進

具体的取組計画等

心身の健康を維持・増進のために，年次休暇やリフレッシュ休暇など，各種休暇の有効活用を促す。また，効率的な勤務の推進について指導助言を行ったり，必要に応じて「健康相談」を勧めたりする。

4

主　要　事　業	③　職場単位及び職場相互の福利厚生活動の推進

具体的取組計画等

全教職員の心身の健康を維持・増進に向けて，様々な福利厚生活動を実施する。

3

成果と課題

総合評価　4

・小・中学校で共通の職員室であることの利点を生かし，小・中学校の教職員が，校種や経験等を意識せずに，積極的にコミュニケーションを図る機会が増えてきた。学習指導や生徒指導の情報交換だけでなく，日常的な話題についても自然に話し合う姿が見られ，風通しのよい職員室になってきた。
・小中一貫校として，共通理解を図ったり，連絡調整を図ったりする機会も多いので，教職員の心身の健康維持・増進に向けて，効率的な校務の遂行を推進し，さらに意思疎通が十分な職場環境づくりに努めたい。

幼　稚　園　教　育

色麻幼稚園　　事務事業点検評価

1　創意と活力に満ちた特色ある園づくりの推進

（1）生きる力の基礎をはぐくむ園経営

主　要　事　業	①　幼児・家庭・地域の実態を踏まえた教育目標の設定と具現化

具体的取組計画等

めざす園児像にそったねらいとスローガンの設定と具現への道筋の策定する。

4

主　要　事　業	②　教職員の協働体制を柱とした園経営の推進

具体的取組計画等

職員組織を整えてお互いに連携して園経営を推進する。

3

主　要　事　業	③　地域に根ざし、開かれた園づくりを目指した評価システムの推進

具体的取組計画等

具体的な活動の計画・実施・評価反省を続ける。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・ねらい，スローガンの具現の道筋を策定し具体的な保育活動についてもPDCAサイクルで推進できた。
・組織を整えて活動に取り組むことができたが，連携に細かなミスがあったので調整や整合を図っていきたい。

色麻幼稚園　　事務事業点検評価

（2）創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価

主　要　事　業	①　発達の特性に応じた教育課程の工夫・改善	
具体的取組計画等 園経営や園研究について評価計画を立案し計画的な評価を実施し、よりよい保育をめざしていく。		4
主　要　事　業	②　学びの連続性を踏まえた教育課程の工夫・改善	
具体的取組計画等 具体的に教育目標達成の道筋を示した指導計画を作成し、評価反省を加えていく。		4
主　要　事　業	③　幼児の思いを大切にした教育環境の構成	
具体的取組計画等 園児一人ひとりの理解と個性の伸長に向けた教育環境作りをする。		4
主　要　事　業	④　具体的なねらいや内容を明確にした指導計画の作成	
具体的取組計画等 園児一人ひとりを念頭に置いた具体的な教育計画作りをする。		4
主　要　事　業	⑤　地域性と教育的価値に裏付けされた行事等の設定	
具体的取組計画等 教育目標の具現化を念頭にし、職員間の共通理解を図り、適切的確な行事を設定する。		4

成果と課題　　**総合評価**　4

・適切な教育課程を編成し評価反省を加えることができた。
・各行事の実施においても共通理解が図られ，的確に行うことができた。より柔軟で具体的な計画立案と実施に努力していきたい。

色麻幼稚園　　事務事業点検評価

２　豊かな心をはぐくむ園づくりの推進

（１）生きる力の基盤をはぐくむ指導の充実

主　要　事　業	①　発達の特性に応じた学び(思考・態度・生活)をはぐくむ指導の充実	
具体的取組計画等 ことばあいさつに着目した保育活動を積極的に進めていく。		4
主　要　事　業	②　道徳性の芽生えを培う保育活動の工夫・改善	
具体的取組計画等 いたわる心や思いやる心、ことばによる表現などの活動を積極的に進めていく。		4
主　要　事　業	③　規範意識の芽生えを培う保育活動の工夫・改善	
具体的取組計画等 基本的生活習慣の定着を進めるとともに家庭の協力による規範意識の醸成に努める。		4
主　要　事　業	④　評価方法の工夫とその評価を生かした指導の工夫・改善	
具体的取組計画等 日々の保育活動を客観的に評価反省するとともに、共通理解共通行動で指導内容の充実に努める。		3

成果と課題　　**総合評価**　4

・日々の指導実践が適切に行われ，指導内容も充実していた。
・地域とより密接に連携した活動を工夫していきたい。

色麻幼稚園　　事務事業点検評価

（2）一人ひとりのよさを伸ばす指導の充実

主　要　事　業	①　一人ひとりの知的好奇心を培う環境構成と援助の工夫

具体的取組計画等

発達段階を考慮に入れた学びを創造する。

4

主　要　事　業	②　一人ひとりの主体的な活動（遊び）を促す指導の工夫

具体的取組計画等

個々の幼児の理解と個性の伸長を促す活動を促す。

4

主　要　事　業	③　発達段階を踏まえた幼・保・小の連携による交流活動の推進・充実

具体的取組計画等

企画立案、実施、評価反省のサイクルを取り入れながら効果的な交流活動を進める。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・一人ひとりの伸長を考慮に入れた活動を促すとともに，個から集団へ集団から個へと活動の内容を確認しながらすすめることができた。
・幼小の交流は時間や量内容と変わらずに設定できたが，内容の工夫が足りなかった。よりはっきりしたねらいを設定確認して講習活動を進めていきたい。

色麻幼稚園　　事務事業点検評価

３　健康でたくましい幼児をはぐくむ教育環境づくりの推進

（１）健やかな成長を促す指導の充実

主　要　事　業	①　心身の発達に必要な豊かな活動（遊び・体験）の推進・充実

具体的取組計画等

自分を知る、自分で守る活動を取り入れた活動を推進する。

3

主　要　事　業	②　「はやね・はやおき・あさごはん」等の基本的な生活習慣の定着

具体的取組計画等

家庭と協力した基本的生活習慣の定着運動を実施する。

3

成果と課題　　**総合評価**　3

・他者からの働きかけで自分を意識することが多い幼児に，自分を守るなどの意識付けを促す取組はもっと工夫を要すると感じた。次年度の課題である。
・生活のルール作りはできても意識することは，意識させることは難しい。的を絞った取り組みを工夫していきたい。

色麻幼稚園　　事務事業点検評価

（2）安全な生活を送るための指導の充実

主　要　事　業	①　一人ひとりの発達過程に応じた自然体験活動等の推進と環境整備

具体的取組計画等

自然を感じる体験活動を促していく。

4

主　要　事　業	②　緊急事態に対処できる保護管理体制の確立

具体的取組計画等

危険予知能力の芽生えを促すとともに地域家庭と連携した保護管理態勢を確立する。

3

成果と課題

総合評価　3

・自然を体感することの環境は十分であり，満喫することができた。反面教師の力量や取り込み方の手法の豊かさで違いが出てくるので，共有できる最低これだけはといった物に的を絞っての活動も考える必要がある。
・危険予知能力は意識しないと身につかないことが多いので，環境の整備と一緒に具体的な指示や掲示物の工夫で促していきたいし高めていきたい。

色麻幼稚園　　事務事業点検評価

４　教職員と家庭・地域が誇れる園づくりの推進

（１）幼児の豊かな心と生活を支える家庭・地域・関係機関との連携

主　要　事　業	①　幼稚園生活と家庭生活との連続性を踏まえた預かり保育の工夫･改善
具体的取組計画等 家庭と連携した保育活動の工夫と内容の充実を進める。	3
主　要　事　業	②　保護者や家庭との密接な連携による基本的な生活習慣の育成と規範意識の醸成
具体的取組計画等 基本的生活習慣の定着運動や規範意識を高める活動を、幼稚園教育全体で進めていく。	3
主　要　事　業	③　家庭や専門諸機関との緊密な連携による個に配慮した適切な指導と支援の充実
具体的取組計画等 子育て支援室、保健師等々と連携しながら適切な指導支援に努める。	3
主　要　事　業	④　安全確保のための関係機関との連携による危機管理体制の確立
具体的取組計画等 防災担当だけでなく職員間の意思疎通を密にした危機管理態勢の強化に努める。	3

成果と課題　　**総合評価**　3

・安全への共通理解が担当者と保育者･保護者とに温度差が生まれてしまったので，共通理解･共通行動を進めしっかりと安全への心配りを進めていきたい。
・子育て支援室，保健師，関係諸機関との連携･情報交換に努めるとともに定期的な意見交換の場を作る必要があり，下地作りが求められているので，前向きに取り組んでいきたい。

色麻幼稚園　　事務事業点検評価

（2）教職員の研修の充実と実践的研究の奨励

主　要　事　業	①　園課題を捉えた研究・研修の推進	
具体的取組計画等 園経営や園研究について評価計画を立案し計画的な評価を実施し、よりよい保育をめざしていく。		4

主　要　事　業	②　専門職としての資質を高める研修の充実	
具体的取組計画等 研修日の設定、教育関係機関の研修、他の期間の研修への積極的な参加を促していく。		4

主　要　事　業	③　チーム保育の指導内容と指導形態・指導方法の工夫	
具体的取組計画等 組織を意識した教育活動が円滑に進めることができるよう形態、方法、内容についてお互いの意見交換の場を数多く設定する。		4

主　要　事　業	④　幼稚園・保育所及び小・中学校教職員との合同研修の充実	
具体的取組計画等 時間、内容等について積極的な情報交換を行い積極的な参加を促す。		3

成果と課題　　**総合評価**　4

・毎月定期的に園の研究について意見交換を行うことができた。
・小中学校の教員との情報交換は，時間調整がうまくできず機会をもつことができなくて残念であった。
・研修内容を絞り，保幼小中との合同の研修会が開催できるよう調整したい。

色麻幼稚園　　事務事業点検評価

（3）教職員の服務規律遵守の徹底

主　要　事　業	①　教育公務員としての自覚と規律の遵守

具体的取組計画等

職員会議などの場で徹底を図っていく。

3

主　要　事　業	②　職務遂行における危機管理意識の高揚

具体的取組計画等

具体的な項目ごとに注意観察項目を設定し、緊張感を保つことができるようにする。

3

主　要　事　業	③　幼児や保護者及び地域との信頼関係の確立

具体的取組計画等

丁寧な説明、細かな気配りなど保護者との意見交換を積極的に行っていく。

3

成果と課題　　**総合評価**　3

・職員会議などの場を活用して意識の統一や規律の確保に努めてきている。全員がそろうことが難しい場面もあり，さらなる工夫を続け、保護者との信頼構築に向かっていきたい。
・服務規律の遵守や危機管理の高揚については取り組みを続けてこそ価値を見いだすことができるので，今後もしっかりと続けていきたい。

色麻幼稚園　　事務事業点検評価

（4）教職員の健康管理と福利厚生の充実

主　要　事　業	①　全教職員の健康(心身の状態)管理と個々に応じた支援体制の充実

具体的取組計画等

情報の共有に努め、一人ひとりに応じた支援態勢を構築していく。

3

主　要　事　業	②　各種休暇の有効利用の促進

具体的取組計画等

心身の解放に向けた情報を発信し積極的な取得を促していく。

3

主　要　事　業	③　職場単位及び職場相互の福利厚生活動の推進

具体的取組計画等

情報交換の場の設営に努力する。

3

成果と課題　　**総合評価**　3

・共通行動・共通理解で園運営がなされる根本は,「和」と考え, 情報の周知と共有に心を配っていきたい。

社　会　教　育

社会教育　　事務事業点検評価

1　生涯学習の推進

（1）学習機会の拡充と生涯学習情報の提供

主　要　事　業	①　生涯学習関係行事予定表の全戸配布による情報の提供	
具体的取組計画等 町内各機関，団体等の年間行事予定の情報を収集し掲載する。 年に2回，各家庭に配布。「色麻町行事暦」とともに生涯学習情報提供に活用する。		3

主　要　事　業	②　出前講座等を活用した学習機会の提供	
具体的取組計画等 町民の学習ニーズに対応した講座メニューの定期的な見直しを図る。 出前講座のチラシを全戸配布するとともに，町ホームページで広報する。		3

主　要　事　業	③　広報紙や町のホームページ等を活用した学習情報の提供	
具体的取組計画等 広報しかまの「生涯学習のひろば」で毎月の事業予定や事業報告を行う。 町ホームページ等のWeb媒体で最新の学習情報を提供する。		2

成果と課題　　**総合評価**　3

・広報しかま，生涯学習予定表，行事暦，有線放送，町ホームページ，チラシにより効果的な生涯学習情報の提供に努めた結果，出前講座の申込みが増えるなど成果が表れている。今後も積極的な情報発信に努めたい。また，さらなる学習機会の拡充を図るため，より積極的に資料・情報の収集を進めることが必要である。

社会教育　　事務事業点検評価

（2）生涯学習の環境づくりの推進

主 要 事 業	① 学校，家庭及び地域住民等相互の連携・協力の推進

具体的取組計画等

学校からの要請に基づき，地域教育力を活用した学校支援ボランティアによるウォーキングパトロール，教科指導や校外引率などを行う。

3

主 要 事 業	② 新たな指導者の育成とボランティアの養成

具体的取組計画等

各種事業にボランティアとしての参加を促し，ボランティア活動ができる環境づくりに努める。

3

主 要 事 業	③ 既存のサークル活動への支援

具体的取組計画等

サークル活動に必要な情報提供に努める。
希望に応じて，文化協会や体育協会への加入推進を図る。

3

成果と課題　　**総合評価**　3

・本事業の取り組みにより，地域の人々の経験や学習成果が地域に還元され，少しずつ地域の教育力が高まっている。また，子どもたちが地域について学ぶ機会ができ，郷土を大切に思う心を育むことにつながっている。
・学校支援活動を通して，地域の人々の学校への関心が高まり，支援者にとっても生きがい作りにつながっている。今後も地域・家庭・学校・PTAがそれぞれ適切な役割を担いながら連携していくことが必要である。

（3）生涯学習施設の効果的活用の促進

主 要 事 業	① 気軽に利用できる環境づくりと学校教育施設の開放

具体的取組計画等

予約，手続きの簡素化を進める。
学校施設の予約手続きを明確にしながら，生涯学習の場として有効に活用する。

3

成果と課題　　**総合評価** 3

・各施設とも生涯学習施設として積極的かつ親しみと愛着を持って施設を利用している。利用予約については，多くの人々が利用できるようルールを設けるとともに，利用予定掲示板を活用し，施設の利用状況を知ってもらうことができた。また，表示等の工夫により，利用上の注意点を明確に示し，町民が利用しやすい環境の整備を進めることができた。学校教育施設の利用も円滑に行われているが，備品の充実など，既存施設の有効利用を推進していく必要がある。

2　ライフステージに応じた社会教育の充実

（1）幼児教育の充実

主 要 事 業	① 幼児期を対象とした情操教育の場の提供

具体的取組計画等

健康な心と体を養うため，遊びやふれあい，レクリエーション，音楽や運動に触れることにより豊かな情報を育むことができる機会を提供する。

4

主 要 事 業	② 幼稚園・保育所及び子育て支援センターとの連携強化

具体的取組計画等

幼稚園，保育所，子育て支援センターと連携と情報交換を深めながら事業の内容を検討し幼児教育事業を進める。

4

社会教育　　事務事業点検評価

成果と課題　　**総合評価**　4

・幼児期は社会に生きるための基礎を学ぶもっとも大事な時期である。幼稚園，保育所，子育て支援センターと連携を図りながら事業内容を検討し，親子レクリエーション，体育あそび，音楽あそびなど各種幼児教育事業を実施し,健康な心と体を育む機会を提供している。今後も，子どもたちが身近に体育や音楽に触れることにより，豊かな情操を育む機会を提供していくことが必要である。

（2）家庭教育の充実

主　要　事　業	①　子育て・親育ち講座の開催

具体的取組計画等

学習参観日など小中学校や幼稚園の保護者が集まる機会を活用して，子どもの生活習慣，食育などをテーマとした「家庭教育講演会」を実施する。　3

主　要　事　業	②　親同士の交流活動の推進

具体的取組計画等

子育て中の保護者を対象に，手づくり教室を通して保護者の交流活動を推進する。　2

主　要　事　業	③　家庭教育に関する情報提供

具体的取組計画等

子育てに必要な情報や家庭教育講演会の内容などを掲載した広報紙を発行し家庭教育情報を提供する。　3

成果と課題　　**総合評価**　3

・家庭教育講演会は，幼稚園，小学校，中学校の保護者を対象に3回実施した。子どもの生活習慣，健康，食育などをテーマにした講演内容が好評であった。プラットフォームの家庭教育支援部では，家庭教育情報紙「ほっとたいむ」を年3回発行し，親の視点から家庭教育情報を発信した。
・相談体制については確立されておらず，定期的な相談会や窓口も開設していない。

社会教育　　事務事業点検評価

（3）青少年教育の充実

主 要 事 業	① 地域教育力の再生に向けた青少年の体験活動・ボランティア活動の支援	
具体的取組計画等	地域の教育力を活用し・地域の協力をいただきながら，サマーキャンプ，こどものまち，合宿通学などの体験活動を実施する。	3
主 要 事 業	② 地域ぐるみで青少年を守り育てる体制の整備	
具体的取組計画等	学校，家庭，地域の連携のもと，学校支援のウォーキングパトロールなど安心・安全な体制の整備を図る。	4
主 要 事 業	③ ジュニアリーダーの育成と地域貢献の機会拡大	
具体的取組計画等	ジュニアリーダーの初級，中級，上級研修会を通して資質の向上を図り，サマーキャンプ等の各種行事や要請に応じて，地域子ども会行事への協力を行う。	3
主 要 事 業	④ 青年たちの広域的な出会いや交流機会の提供	
具体的取組計画等	結婚相談会を実施する。 大崎定住自立圏事業として，広域的な出会いの場や交流機会を提供するであいふれあい事業を実施する。	3

成果と課題　　**総合評価**　3

・こどものまち，合宿通学では地域の教育力を活用し，体験活動を通し人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を育むことができた。
・青年たちの広域的な交流，出会いの機会の提供や結婚相談会を実施しているが，参加状況が低調なため，広報周知などを徹底していく必要がある。

社会教育　　事務事業点検評価

（4）成人教育の充実

主 要 事 業	① 成人式の開催

具体的取組計画等

式辞，祝辞，町民憲章の朗読，誓いの言葉など新成人者の門出を祝う式典を行う。
成人式実行委員会による記念文集「はたち」の発行。

4

主 要 事 業	② 成人の多様な学習ニーズに対応する事業の推進と学習機会の拡大

具体的取組計画等

成人の学習ニーズに対応した学習機会を提供する。

3

主 要 事 業	③ ボランティア活動と地域活動への参加の推進

具体的取組計画等

運動会スタッフ，読書ボランティアなど地域ニーズと町民の間をコーディネートし，ボランティアに参加する人達も生きがいにつながるような活動の機会を提供する。

3

主 要 事 業	④ 生活合理化運動の推進

具体的取組計画等

「すばらしい色麻を創る協議会」を中心に生活合理化運動の普及啓蒙チラシを全戸配布するなど積極的に推進する。

4

成果と課題　　**総合評価** 4

・成人式では，実行委員会を発足し式典の企画運営及び記念文集を発行した。
・各種行事へのボランティアの協力を得ることができた。
・生活合理化運動も各地域に浸透しつつある。
・生涯各期に応じて，町民ニーズに応えられるような新たな事業を継続的に実施していく必要がある。

社会教育　　事務事業点検評価

（5）女性教育の充実

主 要 事 業	①　女性の特性を活かした地域社会活動への参加の推進

具体的取組計画等

婦人会活動への支援，協力を行い，女性の地域活動への参加を促す。

4

主 要 事 業	②　ニーズに応じた学習講座の実施

具体的取組計画等

様々なライフステージと今日的な課題に対応した学習講座の機会を提供する。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・婦人会は，住民と行政をつなぐ団体として，生活に関する相互扶助，伝統文化の継承，地域課題の解決などの役割を果たしている。婦人会活動への支援・協力を行い女性の地域活動への参加の推進を図ることができた。

（6）高齢者教育の充実

主 要 事 業	①　高齢者の「健康」と「生きがい」につながる学習講座や研修の実施

具体的取組計画等

豊齢者学級で健康づくりや消費生活など身近なテーマで，生きがいにつながる講座内容で学習機会を提供する。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・保健福祉課との連携を図り，豊齢者学級を年6回開催した。消費生活，健康，食の身近なことをテーマとした講座は好評だった。今後も高齢者が地域の中で心豊かな生活を送るためにも，生きがいと楽しみを持って取り組めるような学習機会の提供に努めることが必要である。

社会教育　　事務事業点検評価

３　図書事業の推進

（１）図書室の活用促進

主　要　事　業	①　居心地の良さと機能性を持たせた図書室の経営

具体的取組計画等

多くの町民が訪れるよう魅力的な書棚づくりをおこない，季節ごとにミニ企画展示や新着本の紹介など町民が気軽に訪れることが出来て心落ち着ける図書館づくりに努める。

3

主　要　事　業	②　おはなし会の開催

具体的取組計画等

幼稚園，保育所，子育て支援センターで絵本や紙芝居，わらべうたなどのおはなし会を実施する。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・色麻学園学校図書館が地域開放されており，学校図書館の中に公民館図書コーナーも併設されている。子どもも一般利用者もそれぞれの本を自由に読むことができて町民と児童生徒の交流や地域の読書活動の活性化につながっている。
・季節ごとにミニ企画展示を実施したり，今の話題の本を紹介した。
・町民の読書ニーズに応えられるよう，蔵書構成を考慮しながら蔵書を増やしていくことが必要である。

（2）読書習慣の定着が図られるような図書環境づくり

主 要 事 業	① 移動図書館車「なかよし号」の巡回

具体的取組計画等

移動図書館車「なかよし号」で各地区集会所，幼稚園，保育所，子育て支援センターを巡回し本の貸出を行う。

4

主 要 事 業	② 読書ボランティアの養成

具体的取組計画等

現在活動している読書ボランティアグループの輪が広げられるよう，積極的にボランティア参加の促進に努める。

3

成果と課題

総合評価　4

・移動図書館車「なかよし号」の巡回は，各地域に定着しつつある。色麻学園学校図書館に来館することができない場合に有効であり，多くの町民が本に親しむことができており，利用者同士のコミュニケーションも図られている。また，読みたい本のリクエストも増えている。
・幼稚園・保育所の巡回時には，読書ボランティアによる小さな「おはなし会」も実施している。読書ニーズに応えていくためにも，蔵書構成を充実させていく必要がある。

４　情報技術・視聴覚教育の充実と振興

（１）大崎生涯学習センターの活用促進と基本的知識や能力を習得する機会の提供

主　要　事　業	①　大崎生涯学習センターの利用案内

具体的取組計画等

センターの発行する各種チラシを設置，掲示する。

3

成果と課題　　**総合評価**　3

・センターからの広報物の設置を行った。
・公民館としての利用実績はなし。

５　芸術文化活動の振興

（１）芸術鑑賞の機会の提供と拡充

主　要　事　業	①　巡回小劇場や青少年劇場小公演の企画と実施

具体的取組計画等

巡回小劇場を実施し，香り高い芸術鑑賞機会を提供し豊かな情操を養う。
青少年劇場小公演を実施し，優れた芸術文化を身近に鑑賞し豊かな情操を養う。

4

成果と課題　　**総合評価**　4

・小中学生を対象にそれぞれ青少年劇場小公演と巡回小劇場を実施した。香り高い芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供し，豊かな情操と人間性を養うことができた。また，普段あまり経験のない生の演奏を鑑賞することは，子どもたちにとって貴重な経験となっている。小中学校を対象に2回実施していたが，小中学校と協議しながら事業の内容を検討する必要がある。

社会教育　　事務事業点検評価

（2）芸術文化活動の担い手の育成

主　要　事　業	①　町文化協会の活動及び支援体制

具体的取組計画等

さなぶり芸能大会を実施し郷土芸能の振興を図る。
町民文化祭を実施し，文化協会加盟団体の作品展示やステージ発表を行い学習発表の機会とする。

4

主　要　事　業	②　サークル活動への支援

具体的取組計画等

各種団体と連携，協力し，初心者向けの教室を開催するなど新規参加者を促す。
生涯学習施設情報や学習情報の提供を行うなど生涯学習活動に取り組んでいるサークルへの活動支援を行う。

3

成果と課題

総合評価　4

・生きがいを持ち豊かな感性を身に付けるため，文化活動の中心である文化協会と協力・連携して町民文化祭やさなぶり芸能大会を実施することで，文化活動の推進を図り，文化の薫る町となるよう機会の提供に努めた。今後は，初心者向けの講座を開催するなど，様々な文化活動に触れる機会を提供して新規参加者の増加を促していく必要がある。また，担い手育成という点では，若い世代の参加を積極的に促していく必要がある。

６　文化財保護体制の整備充実と活用の推進

（１）文化財保護体制の整備

主　要　事　業	①　文化財保護管理事業

具体的取組計画等

文化財パトロール：県文化財保護地区指導員による埋蔵文化財の現況調査
文化財防火デー(毎年1月26日)に，町消防部局とともに町内文化財防火行事を行う。
南奥羽山系カモシカ保護地域の調査及び保護・記録のための対応
文化財指定のための調査及び新規の文化財指定
各種開発に際して，埋蔵文化財保護のための協議，調査など
文化財保護審議会による文化財保存及び活用に関する調査審議

3

成果と課題　　**総合評価**　3

・県事業である「文化財パトロール」と「カモシカ通常調査」については，県委嘱の指導員と連携を図り，報告書の作成まで終了した。
・県指定文化財の安置される往生寺において，「文化財防火デー」時の防火訓練を実施した。
・概ね通常の業務は遂行できたが，新規の文化財指定に関する調査については，候補を挙げるに留まったため，今後さらに積極的に進める必要がある。

（２）史跡の整備

主　要　事　業	①　史跡の整備

具体的取組計画等

指定史跡（国指定「日の出山瓦窯跡」・県指定「念南寺古墳群」及びアクセス道路の整備
老朽化した木製の文化財標柱等の更新。

3

成果と課題　　**総合評価**　3

・指定史跡の整備を随時行った。
・標柱の更新に関して，黒沢地区釈迦堂の案内看板の更新を行った。

社会教育　　事務事業点検評価

（3）伝統・伝承芸能活動の積極的な支援

主 要 事 業	① 伝統･伝承芸能活動の積極的な支援

具体的取組計画等

町指定無形(民俗)文化財の奨励･･･清水田植え踊り･清水神楽。
伝統芸能及び郷土芸能活動の奨励･･･高城獅子踊り･カッパブギ色麻･仙北麦つき踊り･桜花太鼓･加美松坂節保存会。
町文化協会と連携し，伝統･伝承芸能の記録保存及び公開を行う。

3

成果と課題　　**総合評価** 3

･町文化協会と連携し，秋まつり時での発表の機会を設けたが，今年度は日程が合わず，公開を行える団体はなかった。
･豊齢者学級で郷土の歴史と文化について初めて講話を実施した。
･小学校が一つになり，これまで学校単位で行っていた伝統芸能の継承が中断している。

（4）町内の文化財や資料展示室等を活用した学習機会の提供

主 要 事 業	① 町内の文化財や資料展示室等を活用した学習機会の提供

具体的取組計画等

町内史跡めぐりの講師対応･･･念南寺古墳群･日の出山瓦窯跡･荒川堰等ほか。
資料展示室における各種展示及び関連事業の実施。

4

成果と課題　　**総合評価** 3

･外部依頼による講師業務(「出前講座」含む)が3件あり，町の歴史等の解説を行った。

社会教育　　事務事業点検評価

7　生涯スポーツの推進

（1）生涯スポーツの普及振興

主 要 事 業	① 町体育施設の環境整備	
具体的取組計画等 町民が安全・安心で気持ち良く体育施設を利用できるよう維持管理に努める。		3

主 要 事 業	② 町体育施設の効率的運用	
具体的取組計画等 体育施設の利用状況や使用上の注意事項などを表示したり体育施設の情報を提供し効率的な運営に努める。		3

主 要 事 業	③ スポーツ推進計画に基づく事業の推進	
具体的取組計画等 色麻町スポーツ推進計画に基づき，町民がスポーツに取り組むきっかけづくり，組織づくり，ひとづくり，環境づくりを進める。		4

主 要 事 業	④ コオーディネーショントレーニングの普及	
具体的取組計画等 関係機関団体と連携しながら，コオーディネーショントレーニングが定着するよう取組を進める。		3

成果と課題　　**総合評価**　3

・町スポーツ推進計画に基づき各種施策を推進できた。
・体育施設の維持管理を徹底し，予約方法にも一定のルールを設けて多くの利用者が気軽に体育施設を使用できるよう効率的な運営に努めた。
・体育協会・スポーツ推進委員・スポーツ少年団・学校と連携を図り，コオーディネーショントレーニングを実施した。集中力向上や新陳代謝の促進を高めるのに有効であり，今後は定期的に実施する。また，有資格者及び指導者の育成を図りたい。
・スポーツ活動等を管内規模で実践する場を提供することにより，市・町民一人ひとりのスポーツ活動への参加意欲を高めることができた。また，ニュースポーツ教室は高齢者の興味を喚起し，健康意識の向上を図ることができた。

社会教育　　事務事業点検評価

（2）各種スポーツ大会の実施

主 要 事 業	① 町民大運動会の開催
具体的取組計画等 町民でつくる実行委員会が中心となり，町民ボランティアの協力のもと多くの町民がスポーツを楽しみ，地域のコミュニケーションを図る。	3

主 要 事 業	② 各種スポーツ大会の実施
具体的取組計画等 バドミントン，バレーボール，ボウリング，野球，バスケットボール，ソフトボール大会等のスポーツ大会を実施し，スポーツ活動を通して，健康増進と参加者同士の交流を図る。	3

主 要 事 業	③ 各種スポーツ教室の実施
具体的取組計画等 ヨガ講座，スキー教室等を実施し，スポーツに親しむ機会を提供することにより健康増進や参加者同士のコミュニケーションを図る。	3

成果と課題　　**総合評価**　3

・町民が一体となって町民大運動会を実施することにより，多くの町民がスタッフとして携わり運営されている。
・各種スポーツ大会が実施されているが，参加チーム数は減少傾向にあるほか，種目によっては参加チームに偏りがある。多くの町民がスポーツ大会に参加しスポーツを楽しむ機会を設けるためには，参加しやすい体制や環境を整えることなどの工夫が必要である。
・スポーツ教室は3講座の開催に留まっている。関係機関との連携を図りながら気軽に参加できるスポーツ教室の実施が必要がある。

社会教育　　事務事業点検評価

（3）子どもの体力・運動能力の向上に向けた取組

主 要 事 業	① 親子レクリエーションの開催

具体的取組計画等

幼児教育事業と連携して，幼稚園，保育所，子育て支援センターで「親子レクリエーション」を実施し，ふれあいと交流を深める。

4

主 要 事 業	② 体育遊びの開催

具体的取組計画等

幼児教育事業と連携して，幼稚園，保育所，子育て支援センターで「体育あそび」を実施し，生涯にわたってスポーツを楽しむための基礎づくりをする。

4

成果と課題

総合評価　4

・将来にわたってスポーツに親しむには，幼児期でのスポーツ体験が重要である。幼児が様々な運動を体験し，運動することの楽しさを感じるとともに，運動を通した親子の触れ合いを深めた。
・バランス感覚を養ったり，子どもの運動能力を引き出したりと楽しくスポーツを体験した。幼児期はもっとも大事な時期でもあるため，定期的に取り組む必要がある。

社会教育　　事務事業点検評価

（4）スポーツ少年団活動の支援

主 要 事 業	① 町スポーツ少年団への支援体制

具体的取組計画等

スポーツ少年団事業(入団・修了式，研修会ほか)に対する支援を行う。
登録制度等の改正に対する体制構築の支援をする。
体育施設，マイクロバスの貸し出しなどを実施する。
活動を適正化するための指導・助言を行う。

3

主 要 事 業	② 町スポーツ少年団指導者の資質の向上

具体的取組計画等

スポーツ少年団指導者に対する研修機会・情報の提供を行う。

3

主 要 事 業	③ 町スポーツ少年団の案内

具体的取組計画等

団員・指導者登録の窓口として，募集，登録，保険の諸手続を行う。
新規団体設立のための支援を行う。

3

成果と課題

総合評価　3

・団員・指導者の登録・マイクロバスの貸出・保険への加入など日常的な業務は適切に執行された。
・大きな行事が入団式と修了式に留まった。
・平成27～28年度，大崎地区協議会の事務局を担当している。

色麻町教育委員会事務事業点検評価意見書

(平成２７年度事業)

色麻町教育委員会事務事業評価（平成２７年度事業）意見書

「色麻町教育委員会の事務の管理及び執行状況についての点検及び評価（平成２７年度実績)」の結果報告書に基づき、各事業施策に対する実績と評価点検の感想を述べる。

少子高齢化やグローバル化など、社会情勢の急激な変化が進んでおり、活力ある社会を構築していくための方向性として、「自立」「協働」「創造」の三つの理念の実現に向けた生涯学習社会の構築が上げられる。

このような社会では、志を高く持ち、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成が重要だと言われている。次代を担う子どもたちが、これからの社会において必要となる「生きる力」を身に付けていくことが必要である。この「生きる力」を育むためには、子どもたちの未来のためにも、学校だけではなく、家庭や地域など社会全体で子どもたちの教育に取り組むことが肝要である。

実施概要の結果では、５点満点評価中「概ね満足」を頂点に「普通」と合わせ、ほぼ１００％となっており、大変すばらしい結果となっている。色麻町の教育基本方針に沿った結果が出ているということだろう。また、評価区分については、今後見直しを検討していると伺ったが、「普通」という評価を、「目標に向かい一所懸命やった結果、目標に到達した」と理解する人は少ないのではないかとも考えられるので、検討されることを望む。

学校教育については、色麻町では、将来を担う子どもたちが、恵まれた自然の中で、未来に向けて志を高くし、心身ともに健やかな人間に育ってほしいとの願いを込めた色麻町立小中一貫校「色麻学園」が開校してから２年が経過した。今後も小中一貫校の利点を上手に活用し、教職員、保護者、地域が一体となったすばらしい「色麻学園」を目指していただきたい。

校内研究等、様々な事業を展開することで、教職員の研修等は充実しており、活力のある学校経営への努力が伺われる。学習指導の充実、改善を図ることにより、児童の自立性を高める指導や学力向上の推進に向けた着実な取り組みを期待したい。

地域に開かれた学校を目指し、学校教育の様子を諸行事や各種たより等を活用し、保護者や地域に積極的に発信し信頼と協力を得ることができており、小中一貫校としての着実な学校経営ができており、創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進ができている。小中合同で「分かる授業」、「系統性を踏まえた授業」づくりに取り組んでいる。

小学校では、算数で複数教員による授業に取り組んだり、小学校５・６年の図工の授業では、中学校の美術教諭が指導したり、小学校４年の音楽の授業では、中学校音楽教諭が指導するなど児童の学習意欲の向上や基礎的基本的な力の定着につなげることができている。

また、中学校においては、数学では複数教員による授業や少人数指導に取り組んでいる。英語では、英語担当教諭の授業にＡＬＴが入り、学年によっては町英語教諭や町教員補助が入り、特色のある豊かな授業が行われている。

学校支援ボランティア等地域人材の活用での高い評価はとても素晴らしい。現代の核家族化や少子化は、人間関係の希薄化を招いており、子どもたちが地域に参加する機会が少なくなってきているように思われる。こうした状況での地域ボランティア活動は、子どもたちが他者との関わり、地域に参加するとても良い機会になっている。地域とのつながりは､豊かな人間性と生きる力を身につける大変重要なことだと考えられるので、今後もぜひ継続して取り組んでほしい。

一方では、教職員の多様な業務対応が求められており、安全衛生や心身への負担が増している中、時間外や休日の部活動引率等で職員の安全と健康を確保する対策や事業の見直しが急務である。教職員の健康（心身の状態）管理と福利厚生の充実については、小中学校の共通の職員室であることの利点が生かされ、校種や経験を意識せず小中学校の教職員が積極的にコミュニケーションを図る機会が増え、風通しの良い職員室になってきたという記述から教職員の子どもたちへの教育に対する熱意が感じられる。今後も更なる取り組みと小中教職員の十分な職場環境づくりに努めてほしい。教職員の風通しの良さが小中一貫の運命を握ると思われるので､「点検評価報告書」にあるように、今後とも研修の充実や情報交換、共通理解に努め、体制の研究に意を注がれんことを関係各位に期待する。

食育に関しては、近年、大人も子どもも生活スタイルが大きく変化し、食生活の多様化も進む中、不規則な食事や偏った栄養摂取等の乱れが課題となっている。食の安全・安心はもとより、学校給食の果たす役割について、保護者の理解と啓発を含めた情報提供を希望する。

また、他の部門においても同様、申し分のない実績となっているようなので、研究を重ねさらなる継続発展を望む。これからも系統性と連続性を持った小中一貫教育の特色を生かし、保護者、地域との連携を強固にし、感性豊かで行動力のある子どもたちがや

がて将来を担う人材となるよう生きる力と個性を育てる教育の充実にまい進してほしい。

幼稚園教育関係については、２年目となる色麻幼稚園では、色々な遊びや学ぶ楽しさを通して、小学校以降の生活や学習の基盤を育成できるよう幼稚園教育の充実に努めている。幼児期の活動は、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習の時期であることから、幼児の主体的な活動や生活経験などが大切である。

幼児期の活動全体が豊かなものとなるよう、家庭や地域における幼児教育の支援に努めることが必要である。幼児が人とかかわる力を育て、若竹のような強くてしなやかな心が育つよう今後も一層の充実を期待したい。

生涯にわたる人間形成の基礎を培うため、個々の育ちを大切にしながら、幼児期から児童期へのスムーズな移行、そして、小学校生活への適応や支援に向けた連携が必要である。関係機関の連携を強化しながら、色麻のすべての子どもたちが、心身ともに健やかで、いつも輝いていられるような、色麻らしい取り組みができるよう期待している。

社会教育関係については、生涯教育は人々の多様な個性・能力を開花させ人生を豊かにするとともに、社会全体の今後一層の発展を実現する基盤であると言われる。特に、少子高齢化を踏まえ、一人一人が生涯にわたって自発的に学び続け、必要とする様々な力を養い、その成果を社会に生かしていくことが出来るような生涯学習環境を整備していくことが必要である。

家庭教育の充実については、核家族や地域のつながりの希薄化などにより、子育ての知恵や経験を共有することが難しく子育てに対して、周囲の手助けを求めにくくなっている状況である。子育ての不安や悩みを相談することができず、一人で抱え込むことのないよう子育て家庭を支える保護者の交流活動などの取り組みをぜひ期待したい。

図書事業については、子どもたちが言葉を学び、感性を磨き表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものである。テレビ、ビデオ、インターネット等の様々な情報メディアの発達、普及により子どもの生活環境の変化、さらには、幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもの読書離れが指摘されている。今後、現在活動している読書ボランティアの輪がもっと広がり、活発な活動ができるようボランティアの参加の促進に努めてほしい。

生涯スポーツでは、町民の健康づくりとコミュニケーションを図るため、スポーツ施設の充実が必要である。各施設とも老朽化が著しく修繕や改修が必要となっている。修繕の年次計画を立て順次修繕や改修を進めることが必要である。

今後も、利用者の利便性の向上を図りながら、町民のスポーツニーズに対応したスポーツ環境の整備を推進してほしい。

生涯学習推進全般については、本町が生きがいのある活力に満ちた豊かな町として、町民の誰もが心豊かな人生を送ることができるよう「いつでも、どこでも、誰でも」学びたいときに学び、子ども達から大人まで年代に対応した学習機会の充実を図るため、町民のニーズに合わせた生涯学習講座を開設し、学習意欲の更なる向上に努めていただきたい。生涯学習情報の提供が不可欠であり一層の工夫が必要である。さらなる生涯学習の充実を目指して、生涯学習推進体制の基盤を強化しながら主要事業を推進するよう期待している。

結びに、教育を取り巻く社会情勢は、少子高齢化、高度情報化等大きく変化しており、様々な課題が指摘されている。中でも少子高齢化が進み１０年、２０年先の町の姿を考えると不安が膨らみ、地域においても孤立する家庭や個人、少なくなった子どもたちの姿が思い浮かぶ。夏休みの恒例行事の一つである早朝のラジオ体操が子どもの減少で、実施できずに中止を余儀なくされていることを耳にする。

今、学校だけでなく家庭や地域が一体となって、子ども達の豊かな生活を保障することに努める時と感じている。この課題に適切に対応できるよう、教育全般にわたる総合的な取り組みをしていく必要があり教育委員会、家庭、学校、地域連帯をより一層深めていただきたい。子どもたちが楽しい生活を送ることが地域、町の活性化につながることを信じて…。

また、生涯学習活動は心の中に夢と希望を運ぶ爽やかな風となって、真の「生きがい」づくりにつながるものである。心の豊かさを目指して、町民一人一人が笑顔で潤いに満ちた人生を送ることができるよう生涯学習活動の推進に努めてほしい。

今後も教育委員会では、引き続き効果の検証や改善への取り組みを進め、より効果的な施策展開となるようさらなる発展と振興を期待する。

色麻町教育委員会事務事業点検評価委員

浅　野　孝　幸

福　田　由　一

早　坂　淳　子

平成２８年８月

評　　価　　者

色麻町教育委員会		学識経験者	
教育長	大　場　茂　樹		浅　野　孝　幸
委　員	武　藤　とし子		福　田　由　一
委　員	佐　藤　邦　雄		早　坂　淳　子
委　員	大　内　直　子		
委　員	武　田　由　紀		